

生活



がん



Q 67歳の夫は4カ月前、胃がんのため胃亜全摘手術を受けました。リンパ節転移が5個あり、ステージIIAと診断されました。予防的に抗がん剤TS-1を1日120ミリグラム、4週飲んで2週休む(4投2休)サイクルを開始。2週飲んだ段階で白血球減少、食欲低下のため休止。100ミリグラムに減量して再開しましたが、ぜんそくの発作が出て入院し、再び休止。退院後、食欲が回復して元気になるりましたが、抗がん剤による再度の体調悪化への不安を主治医に伝えたところ、「TS-1は中止しましょう」と言われました。本当に中止でいいのでしょうか。

A TS-1は進行した胃がんの術後、1年間の服用が推奨されています。約1割の患者さんの再発を防ぐことが臨床試験で分かっており、ご主人のようにリンパ節転移がありステージIIAの診断であれば内服をお勧めします。ただし、再発を予防するための治療なので、極端に体調を悪化させてまで行う治療ではありません。副作用が強い場合、量と期間を

胃がん術後、抗がん剤TS-1を中止してもいい？

調整してうまく抗がん剤と付き合いたい方法をとります。ご主人は1日120ミリグラムから100ミリグラムに減量し、そこで中止されていますが、さらに80ミリグラムまで減量することが可能です。また、4投2休から2投1休のように、服用期間を変更する対応もあります。胃の切除後、体調回復には時間がかかります。術後経過により体調も変化するので、副作用が1年間ずっと続くとは限りません。体調さえ落ち着けば、早めに再開する方がいいと思います。もし希望されるなら、主治医に再度相談されるといいでしょう。

Q ぜんそくとの関係は？

A ぜんそくが原因で抗がん剤を行えないということも、抗がん剤が原因でぜんそくが悪化することも基本的にはありません。今回は抗がん剤と関係なく、たまたまぜんそくの発作が起こったと思われれます。

回答には、がん研有明病院の井田智・消化器外科胃外科副医長が当たります。「がん電話相談」(協力：がん研究会、アフラック、産経新聞社)は、☎03・5531・0110。月～木曜日(祝日は除く)午前11時～午後3時。相談が本欄に掲載されることがあります。